

令和5年第7回京田辺市教育委員会定例会議事日程

令和5年7月19日(水)

午前10時開会

市役所3階305会議室

- 1 開会宣告
- 2 議事日程報告
- 3 日程第1 教育行政報告
- 4 日程第2 報告第13号 令和5年度京田辺市一般会計補正予算(第3号)について
- 5 閉会宣告

令和5年第7回京田辺市教育委員会定例会

教育行政報告

R05/06/22 ~

R05/07/19

1. 教育行政報告

日	日	内容	会場
6月			
22日	(木)	市議会本会議(一般質問①)	議場
23日	(金)	市議会本会議(一般質問②)	議場
24日	(土)	部落解放同盟山城地区協議会定期総会	宇治市
25日	(日)	春季地域スポーツ大会(草内)	培良中学校
26日	(月)	市議会本会議(一般質問③)	議場
27日	(火)	山城教育局指導主事計画訪問 市特別支援教育研究会総会	田辺中学校 中央公民館
28日	(水)	京都府国公立幼稚園・こども園長会総会・研修会	京都市
29日	(木)	文教福祉常任委員会	委員会室
30日	(金)	山城教育局指導主事計画訪問 京田辺市立学校・警察連絡協議会	普賢寺小学校 中央公民館
7月			
1日	(土)	市青少年問題連絡協議会 子育て講演会	中央公民館
3日	(月)	山城教育局長ヒアリング 社会を明るくする運動街頭啓発	山城教育局 新田辺駅
5日	(水)	生涯学習推進協議会 京都府市町村教育委員会連合会 三役会・幹事会	中部住民センター 府庁
7日	(金)	第1回総合教育会議	305会議室
8日	(土)	京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ閉講式 「つくろう!ふるさと京田辺」～夏祭り田辺音頭&音楽祭～	同志社大学 田辺公園花見山野外ステージ
10日	(月)	市議会本会議(採決)	議場
11日	(火)	第1回学校教育審議会	305会議室
12日	(水)	学校経営研究会特別研修会	中央公民館
14日	(金)	聖愛幼稚園との協定調印式	特別応接室
18日	(火)	経営会議	305会議室
19日	(水)	第7回教育委員会定例会	305会議室

2. 議会報告

議会報告

令和5年第2回京田辺市議会定例会

1. 令和5年6月20日開催 本会議 代表質問 p. 1～3
2. 令和5年6月22日、23日、26日開催 本会議 一般質問 p. 4～17
3. 令和5年6月29日開催 文教福祉常任委員会 議案審査、補整予算審 p. 18～28

令和5年第2回京田辺市議会定例会 代表質問質疑・答弁

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
日本共産党 京田辺市議会 議員団 (青木綱次郎)	○重点施策について ・ (1) 経済的な子育て支援の充実として ア 学校給食の無償化を求める。	教育部長	・ 学校給食費につきましては、学校給食法において給食提供に係る費用負担が示されており、給食食材の購入に係る経費分、いわゆる食材費は保護者の負担とされていることから、給食費の無償化は考えておりません。
公明党 (河田美穂)	○まちづくりの基本方向と重要施策について ・ (4) 「文化・教育」をキーワードとした取り組みについて ウ 培良中学校の学校選択制度導入に向けた特色化とは具体的に。	教育長	・ 培良中学校につきましては、「生徒一人ひとりがいきいき活躍する学校 わくわくどきどきがとまらない学校」をコンセプトにした事業を実施したく考えており、まず、少人数によるきめ細やかな指導ができる環境を活かしながら、外国語指導助手を追加配置することで、グローバル化に向けた外国語教育の充実を図ります。 また、ICT活用強化プログラムとして、校内外へのオンライン配信やデジタル教材の活用などを促進させるための環境整備や、e-スポーツを教育活動に取り入れることで、新たな部活動の創設を目指すほか、専任のスクールカウンセラーを配置し、生徒に身近な相談体制を構築します。 さらに、企業への職場体験学習や農業体験の充実、市内の高等学校等との連携による理系教育の

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<p>エ 新たに開設する「教育支援センター」と、今までの適応指導教室との違いは。</p>	<p>教育長</p>	<p>推進、設備の充実や専任指導者の配置によるハンドボール部の強化など、既存の特色に新たな魅力を付加できるよう調整しているところです。</p> <p>これらの取り組みを通じ、培良中学校に魅力を感じることもたちが、通学区域外からも通学できる学校選択制度を令和6年度から導入できるよう進めております。</p> <p>なお、公共交通機関による通学が必要となる場合も考えられることから、通学費補助金の交付についても内容を整理しながら検討しているところです。</p> <p>これまで、教育支援教室や別室では、活動スペースに制限があり、さらには個室が確保できないなど、課題もありました。</p> <p>新たに開設する教育支援センターでは、不登校の未然防止と不登校児童生徒の社会的自立に向け、児童生徒やその保護者に対する教育相談機能の強化、学習支援の充実を図りながら、児童生徒や保護者、学校への支援を行う拠点としていきたいと考えております。</p> <p>スタート年次となる本年度は、教育相談専任指導主事を配置することで、不登校対策の一元化を</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> オ 中学校完全給食開始に向け、アレルギー食は、どのように対応するのか 	教育部長	<p>図り、不登校児童生徒に対する個別支援や、学校と連携したアウトリーチによる支援を進めてまいります。さらに、公認心理師または、臨床心理士を配置し、個室での教育相談を充実させてまいりたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校給食におけるアレルギー対応につきましては、文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づきまして、安全性を最優先に、アレルギーを起こしやすいとされる食品の完全除去による給食の提供を考えております。 <p>また、給食開始に向け、生徒の食物アレルギーに関する調査を行った上で、対応が必要な生徒の保護者に対して養護教諭や栄養教諭による面談を実施し、万全を期してまいりたいと考えております。</p>

令和5年第2回京田辺市議会定例会 一般質問質疑・答弁

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
有田幸平 (日本維新の会・ 無所属南部の会)	○田辺東幼稚園、田辺東小学校前の横断歩道について ・ 田辺東幼稚園及び田辺東小学校前の児童たちが通学時に使用している横断歩道について、朝の通勤時間帯の自動車の往来が非常に多い為、その安全対策、安全確保について問う。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ご質問の横断歩道が設置されている東室垣外線につきましては、PTAからの要望を受け、これまで、ガードパイプの設置や注意喚起看板の設置を行うとともに、登校園の時間帯に通学安全整理員を配置するなどの対策を行っているところです。 引き続き、必要な安全対策を行い、児童や園児の安全確保に努めてまいりたいと考えております。
	○培良中学校の生徒数偏在における特色化について ・ 生徒数の減少が見込まれる培良中学校において、さらなる特色化への取組と学校選択制の導入について問う。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 培良中学校につきましては、「生徒一人一人がいきいき活躍する学校 わくわくどきどきがとまらない学校」をコンセプトに、外国語教育の充実、ICT活用強化に向けた環境整備、新たな部活動の創設、職場体験学習の充実、理系教育の推進などの取り組みを進めたく考えております。 これらの取り組みを通じ、培良中学校に魅力を感じるこどもたちが、通学区域外からも通学できる学校選択制度を令和6年度から導入できるよう進めてまいります。 なお、公共交通機関による通学が必要となる場合も考えられることから、通学費補助金の交付に

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
吉高裕佳子 (無党派)	<p>○いのちを守る学校について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 本市の小・中学校における学校事故の実態は。 ・ (3) 学校管理責任が教員になっているため、負担が大きいと言われている。本市の学校管理の現状は。今後は、専門家による施設点検や指導を定期的に行う必要があると考えるが市の見解は。 	教育部長	<p>についても内容を整理しながら検討しているところでございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立小中学校の学校管理内における昨年度、令和4年度の事故の発生件数は、小学校で273件、中学校で210件、合わせて483件となっております。 <p>事故の発生時間は、小学校では休み時間中、中学校では体育系部活動時が最も多く、発生場所はグラウンド・体育館が半数を占めています。</p> <p>学校施設や設備の管理につきましては、教職員が日常の目視により点検を行っているほか、令和3年度には、非構造部材、例えば窓や天井、収納棚、外構フェンス、体育館のバスケットゴールなどについて、専門業者による安全点検を実施し、修繕等の対応を行いました。</p> <p>今後は、児童生徒の安全・安心を今まで以上に確保するため、専門業者による定期点検など日常管理の導入により「予防保全」に重点をおいた対策を行えるよう、このたびの第3号補正予算案において、学校施設や設備の維持管理業務を一括して発注する包括管理委託に要する債務負担行為を計上したところです。</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・(2) 学校事故の中には、熱中症によるものも含まれる。熱中症の危険が高まる季節となるが、学校での対策について問う。 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱中症対策につきましては、児童生徒に対して、こまめに水分補給をし、休憩時間を確保するよう指導しております。また、日頃から環境省が発表している暑さ指数を参考にしたり、校内に設置している暑さ指数計や教員が携行する暑さ指数計を目安にしたりして、教育活動の内容を変更するなどの弾力的な運用をしております。 さらに保健指導などにより、児童生徒が熱中症に対する理解を深め、健康な体力作りの大切さについても指導するとともに、日頃から体調不良を感じたときは、すぐに相談するよう指導しているところです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・(4) 万が一のときの事故対応の体制はどうなっているのか。また、日頃の研修などはされているのか。 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校における事故対応の体制や研修につきましては、各校で策定している危機管理マニュアル等を元に、校内研修を実施するとともに、教職員の危機意識を高められるよう、事故が発生した時を想定した訓練を実施することとしております。また、その都度、課題を整理し、マニュアルを見直しております。 昨年度、児童に重篤なアレルギー反応が起こったとき、マニュアルをもとに役割分担を行い、迅速かつ組織的に対処できた事例もございます。

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
向川弘 (公明党)	<p>○原油価格高・物価高騰等の影響を受けている事業者および市民の方々への負担軽減と支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 燃料費高騰対策およびLPガス料金の負担軽減策をすべきと考えるが、見解を問う。 ・ (2) 小学校における給食費や教材費等の保護者負担の軽減支援をすべきと考えるが、市の見解を問う。 	教育部長	<p>今後こうした取り組みを通して、教職員の役割分担を明確にし、組織として対応できるようにしてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まず、物価高騰等による負担軽減につきましては、民間留守家庭児童会事業者の光熱費負担を軽減するとともに、小学校における給食費の値上げを回避すべく、このたびの第3号補正予算案において、所要の経費を計上したところでございます。 <p>また、令和5年度当初予算において、新たに家庭学習を支援するデジタル教材の購入に係る費用を全額市負担として措置したほか、これまでから学校管理下でのケガを補償する日本スポーツ振興センター災害共済掛金の保護者負担部分を全額市負担とするなど保護者の経済的負担の軽減に取り組んでいるところでございます。</p>
榎本 昂輔 (自民一新会)	<p>○市民の声に寄り沿った子育て環境の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 留守家庭児童への宅配弁当(夕食)の導入について、市の考えは。 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留守家庭児童会につきましては、開設時間を平日は午後6時30分までとしておりますので、児童が帰宅してから夕食をとることを想定しております。 <p>そのため、留守家庭児童会の開設時間に夕食の提供は必要ないと考えております。</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 中学校の通学バスの今後の展望について、市の考えは。 	教育部長	<p>また、土曜日や学校が長期休業の際には、昼食に係る宅配弁当につきましては現状の運営体制で宅配弁当の対応を行うことは課題が多く、直ちに実施することは困難であると考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バス通学につきましては、本市では、普賢寺小学校区の一部の地区を対象としてスクールバスを運行しております。 <p>また、同校の児童が校区外から路線バスを利用して通学する際には、その費用の一部を補助しているところです。</p> <p>現時点で、他にバス通学に係る取組みはございませんが、今後予定している培良中学校への学校選択制の導入により、生徒の校区外からの通学が想定されることから、当該生徒につきましては、路線バス利用の際の補助も含めて検討していきたいと考えております。</p>
次田 典子 (無党派)	<p>○施政方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 市長は、非核平和都市宣言のまちの長として、どのように考え、何をすべきかを示してください。例えば、小中学校の修学旅行の行き先を広島や長崎、沖縄に変更も必要では 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行につきましては、その土地の歴史や文化、産業に触れることなどを目的として行き先を決めております。 <p>今年度につきましては、市立3中学校においては、「沖縄」や「長崎」への修学旅行をそれぞれ実</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答 弁 者	内 容
	<p>ないのか。</p> <p>・ (5) 不登校を作り出している要因は何だと考えているのか。今となっては、学校のあり方を考え直さなければならないが、その点については、どのように考えているのか。</p>	<p>教育部長</p>	<p>施いたしたところでございます。</p> <p>また、小学校につきましては、各校の代表で構成されます修学旅行検討委員会を設置し、学習活動への生かし方、子どもの安全や健康、保護者の経済的負担などの観点から、行き先を検討しております。</p> <p>・ 不登校の要因につきましては、友達との関わり、家庭の環境や発達に関わる課題などであり、それらが複雑に絡み合うことで不登校が生じているものと考えております。</p> <p>そのため、これまで学校と市教育委員会とが連携を図りながら、児童生徒一人ひとりに目を向け、行動の変化や不登校の兆候を見逃さないように努め、兆候などが見られた際には、学校全体で組織的に未然防止に取り組むとともに、公認心理師やスクールカウンセラーによる相談事業なども実施しております。</p> <p>児童生徒一人一人の思いに寄り添い、保護者の悩みに耳を傾けて、よりよい学校づくりにしていくことが求められていると認識しております。</p> <p>今後もそのように取り組んでまいります</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
南部登志子 (日本維新の 会・無所属南 部の会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (6) 近畿地方で夜間中学の設置予定がないのは京都府のみとなってしまった。京都市民以外の京都府民だけが学び直しの保障がないことを市長はどう考えているのか。 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び直しの場合としての夜間中学の設置につきましては、京都府を中心とした取り組みが必要であると考えており、市教育委員会といたしましては、京都府教育委員会に協議会の設置を働きかけながら、引き続きその動向を注視してまいりたいと考えております。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ (10) 北部に図書館や、市民活動を育む市民活動センターが必要だ。 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北部地域につきましては、現在、北部住民センターに中央図書館北部分室を設置するとともに、移動図書館を山手東、山手南や山手西など北部地域5か所に月2回巡回させております。 さらに、昨年11月から松井山手の商業店舗において、図書返却箱、いわゆるブックポストを設置しており、北部地域の方への利便性を向上させたところであり、新規に図書館を開設する予定はありません。
	<p>○普賢寺地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 普賢寺小学校に学童保育を 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普賢寺小学校に通う児童の下校につきましては、徒歩で帰宅する児童以外に、路線バス、スクールバスの利用や保護者の迎えのある児童がおり、迎えを待つ間は、隣接する普賢寺児童館で過ごしております。 一方、留守家庭児童会の設置目的は、保護者の就労や病気等により、保育を必要とする児童に放課

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
岡本 亮一 (日本共産党 京田辺市議会 議員団)	○三山木小学校及び田辺中学校の大規模校問題について ・ (1) 培良中学校の学校選択制度について ア 市教育委員会は「児童生徒数の偏在解消に向けて短期的に解決すべき課題への基本的方針」を決定した。同方針では培良中学校への対策として、新たな特色を付与するとしているが、その具体的な内容について問う。	教育部長	後の居場所をつくることですが、現在のところ、学校やPTAからその必要性について協議がなされたとは聞いておりません。 ・ 培良中学校につきましては、「生徒一人一人がいきいき活躍する学校 わくわくどきどきがとまらない学校」をコンセプトに、外国語教育の充実、ICT活用強化に向けた環境整備、新たな部活動の創設、職場体験学習の充実、理系教育の推進などの取り組みを進めたく考えております。 これらの取り組みを通じ、培良中学校に魅力を感じるこどもたちが、通学区域外からも通学できる学校選択制度を令和6年度から導入できるように進めております。 なお、公共交通機関による通学が必要となる場合も考えられることから、通学費補助金の交付についても内容を整理しながら検討しているところです。
	イ 学校選択制度を導入することで、どの程度の偏在を解消できると見込んでいるのか。また、その課題について問う。	教育部長	・ 学校選択制度による偏在解消の見込みといたしましては、新たな特色化の付与をすることにより、生徒数の減少傾向の緩和につながるものと見込ん

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<p>・ (2) 三山木小学校の施設利用の現状と今後の対策について</p> <p>ア 児童が増加していることにより、運動場、学校図書館、トイレ基数、給食調理数等に関して、教育活動に支障をきたしていると考え、その認識を問う。</p> <p>イ 今後も同小学校では児童数が増加すると予測されるが、施設利用について、その対策を問う。</p> <p>○留守家庭児童会について</p> <p>・ (1) 現在、三山木留守家庭児童会では専用施設の定員を超える児童については、学校施設を活用して受け入れている。今後も児童数の増加に伴い、留守家庭児童会を希望される</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p>	<p>でおります。</p> <p>本市における市立学校間の児童・生徒数の偏在解消につきましては、こうした短期的な対応と合わせ、中長期的な視点をもって中学校のみならず、小学校も含め解消すべき課題であると認識しておりますので、引き続き学校教育審議会におきましてご審議いただきながら、その対応に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>・ 三山木小学校の施設につきましては、これまで、必要な教室・トイレを確保するための仮設校舎の整備や、代替グラウンドでの体育授業の実施など、教育活動に支障を来さないよう取り組みを進めてきたところです。</p> <p>同校は、当面の間、更なる児童数の増加が見込まれますが、時間割や指導方法などを工夫して教育活動に影響が出ないように対応してまいりたいと考えております。</p> <p>・ 三山木留守家庭児童会につきましては、留守家庭児童会専用施設の定員を超える児童について、学校施設を利用して保育しているほかに、民間の留守家庭児童会が開設しておりますので、そちらにも通所していただいております。</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
菊川和滋 (NEXT 京田 辺)	<p>保護者も増加するが、その認識と対策について問う。</p> <p>・ (2) 普賢寺小学校にも留守家庭児童会を新設することを検討してはどうかと考えるが、市の見解を問う。</p>	教育部長	<p>今後、三山木小学校に通学する児童が増えることから、三山木留守家庭児童会を希望する児童数は増加すると認識しておりますが、仮設校舎の利用や民間活力の活用により対応してまいりたいと考えます。</p> <p>・ 普賢寺小学校に通う児童の下校につきましては、徒歩で帰宅する児童以外に、路線バス、スクールバスの利用や保護者の迎えのある児童がおり、迎えを待つ間は、隣接する普賢寺児童館で過ごしております。</p> <p>一方、留守家庭児童会の設置目的は、保護者の就労や病気等により、保育を必要とする児童に放課後の居場所をつくることでございますけれども、現在のところ、学校やPTAからその必要性について要望があがってきておりません。</p>
	<p>○子育て日本一をめざして</p> <p>・ (2) 現在社会における子育て環境に沿った留守家庭児童会への取組を問う。</p>	教育部長	<p>・ 本市につきましては、子育て世帯を中心とした転入によって人口の増加が続いていることや保護者の就労による保育ニーズの高まりにより、今後も留守家庭児童会を必要とする児童は増加するものと考えております。</p> <p>こうしたことから、留守家庭児童会を必要とす</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
増富理津子 (日本共産党 京田辺市議会 議員団)	<p>○安心、安全なまちづくりへの要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (4) 公共施設や学校などで、女性が過ごしやすい環境を整えるために、女性トイレにトイレットペーパーと同じように生理用品の設置を求める。 	教育部副部長	<p>る児童の受入促進のため、民間の2つの留守家庭児童会へ運営支援を行っているところであり、今後も民間事業者から留守家庭児童会の設置意向や運営意向がございましたら、支援策等を検討する中で、児童の放課後保育を着実に進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校における生理用品につきまして、本市では、児童生徒自身の様子や家庭の状況を把握するという教育相談の観点を重視していることから、保健室において、養護教諭を通して提供しております。 <p>今後も、生理用品を必要とする児童生徒が、ためらうことなく、安心して申し出ることができるよう、啓発などの環境作りにも努めながら提供してまいりたいと考えております。</p>
国重 昂平 (自民一新会)	<p>○国、府と連携した子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 不登校児童数が10年連続で増加しており、また一昨年前から昨年にかけて大幅に増加した。施政方針でも言及されている「教育支援センター」は受け皿としての機能を高 	教育部副部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の不登校児童生徒につきましては、全国と同様に増加傾向にあり、その要因や背景もますます複雑・多様化しております。 <p>そうした中、これまで学校と市教育委員会とが連携を図りながら、不登校の未然防止や早期発見</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<p>く評価する。本センター設置の背景と理念について問う。</p>		<p>に取り組むとともに、不登校となった場合でも、学校における支援に加え、教育支援教室や別室において小集団活動、学習支援や教育相談などの取り組みを進めてまいりました。</p> <p>しかしながら、教育支援教室や別室では、活動スペースに制約があり、さらには個室が確保できないなどの課題がありました。</p> <p>そこで、京田辺市学校教育審議会の答申を受け、市教育委員会において「不登校児童生徒への支援の充実に向けた基本方針」を定め、新たに教育支援センターを開設することとしたものです。</p> <p>教育支援センターでは、不登校の未然防止と不登校児童生徒の社会的自立に向け、児童生徒やその保護者に対する教育相談機能の強化、学習支援の充実を図りながら、児童生徒や保護者、学校への支援を行う拠点としていきたいと考えております。</p>
<p>早川由紀夫 (日本維新の会・無所属南部の会)</p>	<p>○小中学校等、市庁舎及び市所管施設におけるトイレの全面洋式化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 小中学校トイレの洋式化は、生活様式や感染症対策等とともに、健やかな学習・生活環境のため必要である。また、指定(緊急)避難 	<p>教育部副部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立小・中学校のトイレの洋式化につきましては、昨年度、合計175据の洋式便器を設置し、洋式化率を事業開始前の50%から75.2%まで引き上げたところです。 <p>内閣府の「避難所におけるトイレの確保・管理ガ</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<p>場所としても、内閣府の「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」を踏まえたトイレの全面洋式化(洋式便器化)は、トイレ調達手段の確立とともに求められているところである。現在までの和式から洋式への進捗状況と今後のスケジュールを問う。</p>		<p>イドライン」では、避難所となる施設の新設や大改修の際に洋式便器の設置を推進すべきとされておりますが、公共施設を中心に依然として和式便器がある中での教育上の観点、また、便座に直接触れる洋式便器を望まない児童生徒への配慮から、一定程度は和式便器を残す必要があると考えております。</p> <p>今後、これらのことを勘案しながら、学校施設長寿命化計画の中で計画的にトイレの洋式化を進めてまいります。</p>
	<p>・ (2) 中央図書館は、市民の利便性の向上のため、市所管施設である中央公民館は一時避難所としても、また、各建物はバリアフリー推進やユニバーサルデザインの観点からもトイレの全面洋式化が求められている。現状認識と共に今後の整備に向けた市の見解を問う。</p>	教育部副部長	<p>・ 中央図書館及び中央公民館のトイレの洋式化につきましては、令和3年度に洋式化を進めたことにより、現在中央図書館の洋式化率は60%、中央公民館の洋式化率は47%となっております。</p> <p>なお、和式トイレにつきましては、一定の需要があると認識しておりますので、今後全面洋式化を行う予定はございません。</p>
	<p>○学校安全ボランティア等について</p> <p>・ (1) 本市は、小学校における登下校時の子どもたちの安心・安全を見守る「学校安全ボランティア登録制度」のもと、その見守る活動の</p>	教育部副部長	<p>・ 学校安全ボランティアにつきましては、令和5年6月1日現在、9小学校で合わせて368人の方々に登録をいただいております。</p> <p>全くの善意で、日々児童を見守っていただい</p>

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
	<p>バックアップを実施しているが、表彰状や感謝状の枠組みを設定すべきであると考えているが、市の考えを問う。</p> <p>(2) 同志社大学等の学生などへの活動奨励は考えられないか、市の見解を問う。</p>		<p>いるボランティアの方々に対し、各学校で「感謝の集い」を開催するなど感謝の気持ちをお伝えしておりますが、市あるいは市教育委員会として何らかの形で敬意を示すための具体的な枠組みについても検討しているところです。</p> <p>また、学生などへの活動奨励に関しましては、一部の小学校において、同志社大学の学生が学校安全ボランティアに登録し、活動いただいている事例がございますので、今後、市内の学生をターゲットにしたPRなどについても研究してまいりたいと考えております。</p>

(文教福祉常任) 委員会審議状況報告書

質 問		回 答	
質問者	内 容	答弁者	内 容
吉高裕佳子委員 (無党派)	<p>【議案審査】</p> <p>○令和5年度田辺小学校北校舎棟長寿命化改修工事請負契約について</p> <p>安全性、バリアフリー、省エネ等の対応は。</p> <p>工事中に事故がないよう安全性を確保して欲しい。</p> <p>工事中の学習への支障や近隣への配慮はどうか。</p> <p>グラウンドが物理的に狭くなることによる学びや遊びへの影響は。</p> <p>運動会だけではなく日常的にはどうか。 使用する子どもの意見も十分聞いてもらいたい。</p>	<p>開発指導課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>環境配慮工事として、建具は複層ガラスに、空調は最新のもの、照明はLED化している。</p> <p>期間中は仮囲いの設置や交通整理員の配備等、安全確保は当然行う。</p> <p>音の出る工事は学校行事の実施時期を調整する。近隣へは工事前に回覧等で周知を図る。</p> <p>現在も仮設校舎があるが授業は工夫して行っている。今よりも狭くなるので、運動会は別の場所で行う予定。</p> <p>学校で工夫をされている。実際に見に行ったが体育の授業等も支障なく行なわれていた。</p>

<p>長田和也委員 (NEXT 京田辺)</p>	<p>入札が1社であった要因は。</p> <p>時期的に厳しい状況と了解した。本市が掲げているゼロカーボンの教育のために、既存施設の改修工事の際の太陽光パネル設置等、再生可能エネルギーへの対応の考え方は。</p> <p>今後改修が必要な建物はだいたい重量物を載せる構造にはなっていないため、ほとんどが太陽光パネルを載せることは難しいという認識か。</p>	<p>建設政策推進室担当課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>建設部副部長</p>	<p>建設業法に基づく技術者を配置しなければならないが、大阪万博等民間工事が増えており、全国的に技術者が不足していると業者から聞いている。</p> <p>既存施設の改修工事の際に、再生可能エネルギーについては検討していきたい。今回の田辺小学校については、躯体が古く構造的に難しかった。</p> <p>新築については府の条例の設置義務もあり設置してきた。改修については、市の地球温暖化対策実行計画策定に係るプロジェクト会議でも議論があった。まだ明確な回答は出せないが、所管課、環境課、建設部で協議をしながら進めていく。既存の建物も構造計算上大丈夫であれば設置の可能性はある。</p>
<p>増富理津子委員 (日本共産党 京田辺市議員団)</p>	<p>地元業者を入れる方向性は、地域活性化のためにも良いと考えるが、入札が1社という原因は万博の関連だけなのか。入札2回目ですら落札ということは、落札率は99%ぐらいではないのか。インフレスライドで工事額が増えていく心配はないのか。</p>	<p>建設政策推進室担当課長</p>	<p>参加業者数について、ゼネコン等は今後も少ないと考えている。市内業者についてはできるだけ早い時期に工事について周知し、技術者を確保していただくよう働きかけをしていく。市の積算は最新の単価を使用しているので、発注後に上がることはあまりないと考えている。</p>
<p>河田美穂委員 (公明党)</p>	<p>防災に関する改修はどうなっているか。 今後の改修の際も、防災のことを考えて充実して</p>	<p>開発指導課長</p>	<p>パッケージ型の屋内消火栓を採用したり、消火水槽の更新を盛り込んでいる。</p>

<p>吉高裕佳子委員 (無会派)</p>	<p>いって欲しい。</p> <p>【補正予算審査】 学校施設包括管理委託事業について、これまで単年度でしていたものを一括でする事によるコスト面や事務負担等への効果は。</p> <p>予防は大事なことであり良かったと思う。業者の選定について、学校施設の専門的な知識のある業者にされるのか、または再委託の時にそういった業者に再委託されるのか。</p> <p>点検の頻度や具体的な内容は。これまでとどこが変わるのか。市の監督者は誰になるのか。</p> <p>培良中学校の特色化事業の内訳は。</p>	<p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育総務室 担当課長</p>	<p>これまでは何か起こってから修繕等を行なっていたが、日常点検を導入するため、予防保全ができることで、長期的に見て修繕のコストが下がると考える。また一括して受託業者が発注等を行なうため、教育委員会、学校現場双方の業務軽減が図られる。</p> <p>包括管理については全国に事例がある。業者の選定はプロポーザルを考えており、そういった実績も審査する。 修繕等については地元業者無しには成り立たないため、そういった時に再委託ということになると考えている。</p> <p>巡回点検は学校毎に月1回行なう。大きく変わったところは、巡回点検を新たにしていくこと、また建築基準法上の12条点検も行なう。監督者は学校教育課長になると考えている。</p> <p>補正予算の内訳は、専任カウンセラーの配置に33万円、職場体験学習の拡充に係るバスの借上料に59万5千円、専任ALTの配置に384万円、新たな部活動の創設に向けた取組で、ハンドボール備品</p>
--------------------------	--	---	--

<p>e スポーツを中学校の部活動で取り入れるのは全国的にも新しいと思うがその経緯と、外部顧問は考えているのか。</p> <p>部活動として行なうゲームを興味だけを魅力とするのではなく、期待される効果についてしっかりと説明が必要と考える。バトルのようなものもあるので、内容として適切なのかしっかり検証いただきたい。</p> <p>増富理津子委員 (日本共産党 京田辺市議員団</p>	<p>学校施設包括管理について、業者選定はどのように行なうのか。</p> <p>では、今学校が地元業者に依頼しているようなつながりは一切なくなるのか。これまで依頼してい</p>	<p>教育総務室 担当課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>に107万3千円、ICT関係部活動の導入に33万3千円、外部主体との連携や外部講師の活用、部活動以外のICT環境整備に80万3千円、広報資料作成に11万円を計上している。</p> <p>導入の経緯は、昨今の生徒が興味を持つ内容であることは重要な要素である。活動に結びつけるためにはそれなりの設備も必要であるが、培良中学校の規模的に可能であると判断し、特色に取り入れた。指導者も、現在配置の職員だけでは難しいため、実際に活動している高校等の教育機関や企業と調整し、連携していきたい。</p> <p>包括管理の委託はプロポーザルで選定する。包括管理を1社に委託し、日常的な修繕が発生した場合に、包括管理の委託業者が地元業者等に発注する。</p> <p>実際に包括管理を行なっているところからも、地元業者に頼まないといけないと聞いている。依頼元が</p>
---	--	---	---

<p>河田美穂委員 (公明党)</p>	<p>た地元業者にならない場合も多くなるということか。</p> <p>5年という期間は長いと思う。</p> <p>点検は学校毎に月1回と言われたが、全ての項目の点検のことか。</p> <p>留守家庭児童会物価高騰対応支援金について、令和5年7月に支給されるのか。</p> <p>電気代だけか。食事の提供はないと思うが。</p> <p>教育支援センターについて事業内容の詳細を教えてください。</p>	<p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育部副部長</p> <p>教育部副部長</p> <p>子ども・学校サポート室総括指導主事</p>	<p>業者なのか、教育委員会や学校なのかが違うだけで、基本的には地元業者にお願いすることになり、現状と大きく変わらないと考えている。</p> <p>他の団体の期間を例にした。単年度契約にしないのは、保守点検をしたときに、今後の修繕に役立てるため、どこをいつ修繕したといった修繕履歴を蓄積する必要があることから、一定の期間が必要と考えている。</p> <p>月1回は巡回点検のことであり、その他にも受水槽等色々な点検あり、項目によって点検の頻度は違う。</p> <p>予算が議決されたら7月に交付する。</p> <p>食事はないが、運営上の電気代やガス代等の光熱費である。</p> <p>相談の拡充について、アウトリーチによる支援で学校で対応していることについて、学校と支援センターが連携する。保護者の要望を元に宅訪し、内容は子どもに応じて学習や会話を考えている。</p>
-------------------------	---	--	---

	<p>学校の対応にプラスするということか。 色々な人が関わることは良いこと。人数を増やしてもらいたい。ポットラックとの違いがわかりにくい。時間延長や土日夜間の開設は。</p> <p>学校に行けない方は午後から活動される方が多いので、子どもの利用時間の拡充はして欲しい。保護者も仕事を持つ方が多いので、時間の拡充は要望しておく。</p>	<p>子ども・学校サポート 室総括指導主事</p>	<p>そのとおりで、学校と連携して行なう。 保護者の相談時間は9:00~13:45を15:45までにすることも考えている。土日夜間については現在考えていない。</p>
<p>有田幸平委員 (日本維新の会・ 無所属南部の会)</p>	<p>培良中学校特色化事業で、eスポーツ部の設立について、ゲームは依存性が高いので、学習に影響が出ないのか、他にはどこにeスポーツ部があるか。</p> <p>中学生にとってはただのゲームととらえてしまうおそれや、睡眠不足の懸念もあり、サポートをしっかりとって慎重に進めてもらいたい。</p>	<p>子ども・学校サポート 室総括指導主事</p>	<p>中学校も視察をして内容を模索している。文化系の生徒がeスポーツを仲間と協力して行なうというスポーツの側面も多い。</p>
<p>長田和也委員 (NEXT京田辺)</p>	<p>学校施設包括管理について、130万円以下の修繕に限るという金額の根拠は。予算額が余った場合、都度入札になるのか。</p> <p>金額が適性かどうかの確認はどのようにされるのか。</p>	<p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>市で随意契約ができる金額が130万円であるので、それを一定のラインとした。金額が余る場合はあまり想定していないが、修繕が多く不足した場合は補正や変更契約が必要と考える。</p> <p>修繕が必要になった場合は修繕の内容と見積額について学校教育課に連絡があり、確認の上実施の指</p>

<p>久保委員 (自民一新会)</p>	<p>培良中学校特色化の件で、入学者見込みはいつ頃どのように把握されるのか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>示を出すので、管理をしっかりしていきたい。</p>
	<p>予想外に多かった場合等、定員は想定されているか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>現時点で見込みは難しい。2学期が始まれば募集要項を配布し、培良中学校の学校公開で校区外保護者説明会を行ない、11月上旬頃確認したい。</p>
	<p>eスポーツは、クラブ活動として良いと思うが、不安視される保護者もおられるので、説明できる体制を整えて欲しい。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>1年目は少ないのではないかと考えているが、公立学校であり定員を決めるのは難しいため、状況を把握し、できる限りの対応を取りたい。</p>
	<p>学校特色化事業について補正で1千万程度計上されているが、今後人数が確定すると必要になる経費の想定はされているか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>補正予算が可決されれば事務を進めていき、準備ができたものから順次実施していく。来年度以降は、今年度の事業の継続を前提とした上で、培良中学校のニーズを把握し、必要なものは予算化していくことになる。</p>
<p>ゲームの内容や依存性の課題もあるが、ゲームやICTとの関わり方を指導・教育するという側面も必要だと思うがどうか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>中学校の部活動という教育の場で行うものであり、そういった観点も十分配慮が必要と考える。普段の教育活動の中でもプログラミングの知識等、教育的観点につなげていけるものになるよう学校と調整して進めたい。</p>	

<p>増富理津子委員 （日本共産党 京田辺市議員団</p>	<p>新しいことに取り組もうとすることは素晴らしい。色々な課題は出てくると思うが、クリアして進めてもらいたい。 今後、eスポーツ以外の部活動といった新たな取り組みは想定しているか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>新たな部活動については引き続き検討している。京田辺市の小学生はハンドボールが盛んなので、地域に根ざして培良中でハンドボールをする場を確保することも検討している。</p>
	<p>ハンドボールは京田辺市で競技人口が多く大事であるが、特色を出すために新たなことにもチャレンジして欲しい。 全国的に部活動が地域移行されているが、そういったことも想定されているのか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>現時点で地域移行の方向性を見出しているわけではなく、あくまでも教育活動の一環として取り入れられるかを調整している。今後の活動の中で連携するところとのつながりから有効な方向性が見えてきたら模索していく。</p>
	<p>培良中学校の特色化で、少人数によるきめ細やかな指導等というのはどういうことを想定しているのか。 校区外からの入学も含めどれぐらいの規模を考えているか。</p>	<p>教育総務室 担当課長 教育総務室 担当課長</p>	<p>きめ細やかな指導は全体に関わること。培良中は他校に比べ少ないからこそできる指導内容があり、特色としていく。カウンセラーも少人数で時間を確保することで、より密接なカウンセリングが可能と考える。小規模校のメリットを生かし、デメリットを解消していきたい。 1クラスの人数の線引きは他校と変わらない。明確な人数設定はないが、小学校の35人学級が今後中学校にも波及する可能性も踏まえながら、きめ細かい指導を行えるよう、学校と調整したい。</p>

<p>小学校給食費物価高騰支援事業で、4,400人で20,460千円とはどういう計算か。また交付時期が7月となっているが、7月にまとめて支払うのか。4,400人は就学援助を除いているのか。</p>	<p>学校給食課長</p>	<p>対象児童1人あたり4,650円/年。7月に一括で支払う。就学援助も含んでいる。概算払いして年度末に精算することになる。</p>
<p>年度末にどこと精算するのか。就学援助を受けていない家庭に7月に一括で支払うということか。</p>	<p>学校給食課長</p>	<p>補助金は各家庭ではなく、各学校に補助する。</p>
<p>教育支援センターで、幼児期から高校まで広く切れ目のない支援ができるのか。また他の自治体では設置要綱でそういったことを謳っているところもあるが、作る予定はあるか。</p>	<p>教育総務室 担当課長</p>	<p>今回の補正計上は食材高騰分のため、通常料金との差額を保護者負担とならないよう、各学校へ7月に補助するもの。</p>
<p>不登校の原因が幼児期にある子どももいると思うので、学校へ上がる不安を持つ保護者の対応も含め、今ポットラックで行なっている不登校支援から一歩進んだ支援が必要と考えるが教育長の考えは。</p>	<p>こども・学校サポート 室総括指導主事</p>	<p>これまでも幼児の情報は園や福祉部から小学校へつないで切れ目のない支援を行なっている。</p>
<p>不登校の原因が幼児期にある子どももいると思うので、学校へ上がる不安を持つ保護者の対応も含め、今ポットラックで行なっている不登校支援から一歩進んだ支援が必要と考えるが教育長の考えは。</p>	<p>健康福祉部 長</p>	<p>妊娠期から切れ目のない支援ということで、学校へのつなぎも健康福祉部と教育部で連携している。幼児期の支援については福祉部で行なっており、教育支援センターに入らないと一貫して支援できないわけではない。</p>
<p>不登校の原因が幼児期にある子どももいると思うので、学校へ上がる不安を持つ保護者の対応も含め、今ポットラックで行なっている不登校支援から一歩進んだ支援が必要と考えるが教育長の考えは。</p>	<p>教育長</p>	<p>行政は所管が分かれている中で連携しながら支援を行なっているが、子どもにとっては成長の一過程であり、教育支援センターでそれをしっかり支えていけるよう、考えながら進めていきたい。</p>

<p>吉高裕佳子委員 (無会派)</p>	<p>要綱についてはどうか。</p> <p>学校教育審議会の答申にも教育支援センターの記載がある。誰一人取り残さない支援ということで、福祉部との連携も書かれているが、具体的にはどのように連携されるのか。</p> <p>福祉部とスクールソーシャルワーカーの支援の強化は重要と感じており、ヤングケアラーの問題や、悩みを持つ保護者同士のつながりの仕組み作り等も取り組んでもらいたい。</p> <p>スクールカウンセラーや指導主事、発達支援士等はどれぐらいの人数か。</p> <p>今後必要なところに専門的な配置をお願いする。</p> <p>培良中学校特色化について、予算の具体的な根拠は。</p>	<p>学校教育課長</p> <p>子ども・学校サポート室総括指導主事</p> <p>子ども・学校サポート室総括指導主事</p> <p>子ども・学校サポート室総括指導主事</p>	<p>設置条例等の制定は考えていないが、どのような取決めをするかは検討していきたい。</p> <p>これまでの連携を大事にしながら、センターがどういう形で支援していくかを模索していきたい。</p> <p>担当指導主事は、現在いる者が担当する予定。公認心理師・臨床心理士は1名程度で現在探している。</p> <p>スクールカウンセラーは平日に常駐できるように、ハンドボール指導員は放課後や土日等で3時間を100日程度で考えている。職場体験については2年生での実施を予定しており、これまでの地域での職場体験に加え、京都市内の専門学校での職業体験を計画しており、3クラス分のバスの借上料を計上している。1年生は農業体験のバス借上料を計上している。</p>
--------------------------	---	--	--

	<p>何が魅力か、どういった効果が期待されるか、しっかりとアピールしてもらいたい。</p>	<p>学校教育課長</p> <p>教育総務室 担当課長</p> <p>こども・学校サポート 室総括指導主事</p>	<p>ALTは現在4人で12校を分担しているが、予算が議決されれば培良中学校に1名専任で配置したい。</p> <p>ハンドボール関係の備品の予算は、屋内・屋外のゴールを1組ずつ計上している。</p> <p>スクールカウンセラーの件で訂正したい。1回6時間を11回分計上し、追加している。</p>
--	---	---	---

報告第13号

令和5年度京田辺市一般会計補正予算（第3号）について

令和5年度京田辺市一般会計補正予算（第3号）について報告する。

令和5年7月19日 提出

京田辺市教育委員会教育長 山岡 弘高

（報告理由）

本件は、令和5年度京田辺市一般会計補正予算（第3号）の教育に関する事務に係る部分について、別紙のとおり議決されたので教育委員会に報告するものである。

1 令和5年度一般会計補正予算第3号 教育関係予算

(単位：千円、%)

	補正後 (A)	補正前 (B)	補正要求額 (A)-(B)	増減率 %	備考
教 育 費	7,114,264	7,061,964	52,300	0.7	
教 育 総 務 費	512,390	494,284	18,106	3.7	
教育委員会費	3,964	3,964	-	0.0	
事務局費	378,025	359,919	18,106	5.0	
情報教育推進費	130,401	130,401	-	0.0	
小 学 校 費	1,672,069	1,651,609	20,460	1.2	
学校管理費	804,784	784,324	20,460	2.6	
教育振興費	82,624	82,624	-	0.0	
学校建設費	784,661	784,661	-	0.0	
中 学 校 費	3,415,811	3,405,577	10,234	0.3	
学校管理費	190,669	180,435	10,234	5.7	
教育振興費	61,774	61,774	-	0.0	
学校建設費	3,163,368	3,163,368	-	0.0	

幼稚園費	912,099	909,599	2,500	0.3	
幼稚園管理費	524,689	524,689	-	0.0	
教育振興費	379,610	377,110	2,500	0.7	
こども園建設費	7,800	7,800	-	0.0	
社会教育費	601,895	600,895	1,000	0.2	
社会教育総務費	401,487	401,487	-	0.0	
公民館費	46,031	46,031	-	0.0	
図書館費	77,258	77,258	-	0.0	
留守家庭児童会 育成事業費	77,119	76,119	1,000	1.3	

2 令和5年度一般会計補正予算第3号 内訳

No	項	目	事業名	予算額 千円	内容	所属
1	教育総務費	事務局費	教育支援拠点整備事業	18,106	不登校の未然防止に係る学校支援及び児童生徒やその保護者に対する教育相談機能の強化、多様化する不登校児童生徒への対応に取り組むことのできる教育支援拠点を開設するもの。 ※予算のうち330千円は「学校特色化事業」に係るもの。	こども・学校 サポート室 学校教育課
2	小学校費	学校管理費	小学校給食費物価高騰緊急支援事業	20,460	物価高騰等による小学生の保護者の負担を軽減するため、市立小学校に対し給食材料費の物価高騰分を補助するもの。	学校給食課
3	中学校費	学校管理費	学校特色化事業（培良中学校特色化事業）	10,234	「児童生徒数の偏在解消に向けて短期的に解決すべき課題への基本的な方針」に基づいて、培良中学校における新たな特色化を図る取組を進めるもの。	教育総務室 こども・学校 サポート室 学校教育課
4	幼稚園費	教育振興費	民間幼稚園電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業	2,500	物価高騰による市内民間幼稚園の負担を軽減するため、電力・ガス・食料品等に対する補助金を支出するもの。	輝くこども 未来室
5	社会教育費	留守家庭児童会育成事業費	民間留守家庭児童会物価高騰緊急支援事業	1,000	物価高騰による市内民間留守家庭児童会事業所の負担を軽減するため、光熱費に対する補助金を支出するもの。	社会教育課

3 令和5年度一般会計補正予算第3号 債務負担行為

No	事業名	限度額 千円	内容	所属
1	学校施設包括管理事業	528,700	学校施設の老朽化対策や整備・維持・更新を的確かつ効率的に進めるための方策として、民間企業のノウハウや創意工夫を活用した包括管理業務を導入するもの。 【債務負担行為：令和5年度～10年度】	学校教育課
2	小学校給食調理等業務委託事業	68,600	新小学校において給食調理等業務を委託により実施するもの。 【債務負担行為：令和5年度～8年度】	学校給食課